

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'19.6

ご挨拶 会員の皆様へ

同窓会会長 古谷 顯史郎



会員の皆様には、常日頃、同窓会活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

5月1日に皇位継承が行われ、祝賀ムードの中「平成」から新元号「令和」を迎えました。

この元号は、万葉集の梅花の歌から採用され「明日への希望と共に日本人1人ひとりが大きな花を咲かせる」という願いを込めたものであるとの解説が有りましたが、希望に満ちた新時代の到来を期待したいと思います。

本年は、41期卒業の皆様にご協力頂き7月6日(土)に総会を開催致します。ご招待致します70期160名の新会員、現・旧教職員の先生方をはじめ、多くの皆様に出席頂きます様、宜しくお願ひ申し上げます。

昨年、入学式をはじめ各行事に出席させて頂きました。例年通り母校の伝統である、自由な雰囲気と多様性の中から、各行事に参加している生徒の皆様の活動を拝見していると、半世紀以上前の中学生時代を思い出し、時代の変化の大きさを感ずると共に、我々の時代もそれなりに、面白く中学生生活を送っていた事に気付かされました。

また、昨年は、創立75周年記念行事のスタートとして体育館音響設備の更新費用として同窓会からは500万円を寄付させて頂きました。PTAからの100万円と合わせ必要最低限の工事が秋に完成致しました。今後の記念行事としては、体育館床改善工事、音響設備最終工事、記念式典等が有り、その予算総額は、4

年間で2500万円から2900万円と見込まれております。

記念行事達成のため一昨年より学校、創竹会、PTAと協議を進めて参りました「所得控除の対象となる特別寄付」を4月以降募集させて頂きます。この寄付は、個人、法人から大学への竹早中学校の教育振興、充実等を目的とした指定寄付となります。その取り纏めを創竹会が行います。詳しくは、本誌の最終頁に創竹会からのお願ひが掲載されております。お読み頂き、ご理解、ご協力を賜り、是非ともご支援を頂き度、宜しくお願ひ申し上げます。

話は変わりますが、母校竹早中学校では、教育実践研究としてパッケージ型教育支援プロジェクト関連事業、OEC Dとの共同による次世代対応型教育モデルの研究開発、教員養成系4大学プロジェクト関連事業等、色々な研究が行われております。いずれも将来の教育に大きな影響を与える事になると思っておりますので、成果を期待したいと思います。

結びになりますが、会員の皆様には、今後とも、さらなるご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせて頂きます。

令和元年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第41期(平成元年度卒)

○日時/令和元年7月6日(土)

【受付開始】13時30分より

【第一部 総会】14時00分~14時30分

【第二部 懇親会】14時45分~16時18分

○会場/竹早小学校1階 ランチルーム

○会費/一般 2,000円

ご招待 現・旧教職員の方々、高校生

※母校創立70周年誌「育み培い」を会場で販売いたします。(販売価格 1,500円)

ご出席・ご欠席を6月28日(金)までに、同封ハガキにてご返信ください。皆様お誘いあわせの上ご参加をお待ちしております。

変わるもの、変えないもの

校長 藤本光一郎



4月より校長に着任した藤本光一郎と申します。よろしくお願いいたします。日頃より同窓会の皆様からは温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。創立75周年に向けた体育館の音響改善なども皆様のご支援をいただいで進めさせていただきます。

簡単に自己紹介させていただきますと、大学や国の研究機関を経て東京学芸大学に来て15年になります。専門は岩石鉱物です。建物や碑の材料に使われるように石は丈夫で変わりにくいものです。しかし長い時間雨風にさらされたり、温泉や火山の近くに置かれたりすると、さすがの石もその性質を変えます。変質作用と呼びますが、私はそのような現象を研究しています。

さて、私の母は竹早中創立時の教員でした。病気のために実際に教壇に立ったのは短い期間でしたが、90歳になった今でも当時の生徒さんとの交流を続けています。そのような竹早中の人々を結びつける力は創立時から今日まで脈々と引き継がれているように感じます。時代は平成から令和に変わりましたが、生徒同士の結びつき、それを取り囲むような教員や保護者、同窓会や教育後援会の方々との結びつきは、本校の教育目標を実現させる土壌であり、変えてはならないものだと思います。

一方で子どもたちを取り巻く環境は変わってきており、それに応じて教育内容や設備も整える必要があります。特に情報機器などは10年もたつと時代遅れになってしまいます。また、30年を経過した施設はいろいろところで修繕が必要になってきます。国からの運営費交付金が減らされている中、安全で時代に適応した環境を整えるためにも同窓会の皆様からのご支援はますます大切になってきます。今年度から控除を受けることのできる特別寄付制度を新設いたしました。寄付の窓口が教育後援会である創竹会に一本化されます。皆様からのさらなるご支援をよろしく願います。

令和を迎えて

副校長 森 顕子



国語科教師として教職に就いた私は、常に言葉を意識して過ごしてきました。そもそも読書をしていても、印象に残るのは美しいと思う言葉や表現でした。物語の筋を追うというよりも、言葉一つ一つを味わうといった本への向き合い方です。ことに韻文は、言葉の数が少ないだけに言葉は精選されますが、そこに豊かな作品世界を内包しています。たとえば、大好きな歌が多く見られる『万葉集』の作品たち。色彩のイメージに特徴のある二首を紹介します。

まず、志貴皇子「石走る垂水の上の早蕨の萌え出づる春になりけるかも」一面の銀世界。雪解け水で水量を増した滝の近くに、緑色が滲むように植物の芽が現れます。早春の空は灰色、地上は真っ白。そんな中の一点の緑の芽に凝縮される春の訪れへの喜び。冷たく透明な滝の水が轟々と流れ落ちる音の響きもその喜びを増幅させて読み手に伝わります。

もう一首、大伴家持「春の苑紅にはふ桃の花下照る道に出で立つをとめ」満開の桃の花々を透かして届く光は、道をも桃色に染めています。ふと見ると美しい娘が桃色の光に包まれて佇んでいます。北国の春の訪れは遅いだけに、その華やかさに喜びが満ちあふれます。しかも、桃の花の美しさに美しい娘子を重ねていることで、この歌の世界は目も眩まんばかりの美しい春の訪れとその喜びが、読み手に届いてきます。

春の喜びを一点に凝縮したり、作品世界全体を包括したり、詠み方は様々です。美しさは、千差万別であつていいと思つていますが一三〇〇年前の人々の感性を継承してほしいという思いもあります。「美しい日本語の遣い手となる」。子どもたちと共に目指しています。美しさとは何かを言葉を通して考える、こういう学習ができる学び舎で学べる誇りと幸せを、これからも子どもたちと共有していきたいと思つています。一層のご支援ご協力の程、お願い申し上げます。

新任・退任の先生挨拶

● 退任挨拶

大熊 誠二



在職中は大変お世話になり、ありがとうございました。65期石戸谷学年の1年担任団に所属させていただきました。A組森先生、B組大熊、C組酒井先生、D組石戸谷先生、学年担任松津先生という豪華メンバーでのスタートでした。8年間、様々な場面で皆様の優しさに支えて頂いたことに、心より感謝致します。竹早中学校、そして皆様のご活躍とご健康を心より祈念しております。



山田 猛

在職中、意識の高い生徒の皆さんや、各分野における専門性の高い教職員の方々から刺激を受けながら、共に教育活動ができたことを幸せに思います。また、

多大なご支援ご理解をいただいた保護者や創竹会・同窓会の皆様には、深く御礼申し上げます。2年生には、卒業まで見送れなかったことを大変残念で申し訳なく思っていますが、かっこいい先輩として活躍していることでしょう。3年生はいよいよ最上級生として伝統のバトンを引き継ぐ姿を後輩たちに示しつつ、1年生は竹早に新たな令和時代の新鮮な風を送り込んで活性化していつてくれることを願っています。私は東京造形大学で、国際協力と造形美術の接点で尽力して参ります。互いに励みましよう。



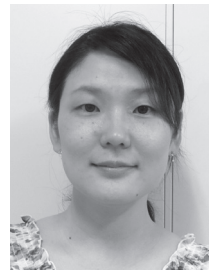
川嶋 正志

平成30年度をもちまして竹早中学校を退任いたしました、国

語科の川嶋正志と申します。今振り返りますと、1年間という短い時間ではありましたが、竹早中学校で過ごした日々は自分にとってかけがえのないものとなりました。生徒の主体性を大切にした竹早中の素晴らしさが学校を離れた今、ひしひしと感じられます。これも皆様のご支援があったからこそだと存じます。この場を借りて感謝申し上げます。1年間お世話になりました。

● 新任挨拶

阿部由美



この4月に竹早中学校に着任いたしました国語科の阿部由美と申します。私

立の中高一貫校に16年勤め、2年間の大学院での研究を経て、ご縁をいただき竹早中学校の一員となりました。自分の言葉で自分の思いを語り、書き、伝えることの楽しさ、重要さを授業を通して子ども達に伝えていきたいと思えます。人生のうちで最も感性豊かな中学生の子ども達の、健やかな成長の一助となれますよう努めて参りますのでよろしくお願い致します。

杉坂洋嗣



4月より附属竹早中学校に着任いたしました杉坂洋嗣と申します。本校に着任する前は、静岡の公立中学校に勤務しておりました。この度、念願であった附属竹早中学校に勤務することができたことを大変嬉しく思います。また、これま

で日本の教育を牽引してきた本校での勤務の責任の重さを実感しております。子供たちの未来と今後の日本の教育が共に可能性に開かれるように尽力いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

富吉 岬



今年1年間、竹早中学校の保健体育科を担当させていただきました富吉岬で

す。運動の苦手な子でも楽しめるような授業を行えるよう頑張ります。私は、小さい頃からサッカーをずっとやっていた、よく試合観戦にも行きます。大学を卒業したばかりで、いろいろご迷惑をおかけすることと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

41期生の部屋



空へ 空から

林 正太



生懸命商い中』という人生を生きている
と思います。迷い、悲しみに苛まれた時
期も乗り越えてきていることでしょう。
41期生が私の学大附属教育の始点で
す。そして、いまでも東京学芸大学で継
続中です。

三十年後の私

佐々木棟明



との通知が来ました。その他に健康診断
の受診の要請などもあります。このよう
なことからも高齢者であることを自覚さ
せられます。すれ違う小中学生はみなま
ぶしく感じるようになりました。
社会性はありませんが、それでも今の
生活は結構気に入っています。社会の中
軸にある皆さんとは違い、自分のやりた
い事だけをやっていればいいのですか
ら。そしてその中の小さな発見に喜び
を感じています。

やっと担任らしくなりました

岩瀬三千雄



と担任らしくなりましたね」とお褒め?
の言葉を頂戴したのを覚えています。で
すから三年生で僕のクラスになった皆さ
んは「大丈夫？」と心配事が一つ多かつ
たと思います。しかし、心優しい生徒諸
君に囲まれて、少なくとも僕は楽しく辛
せでしたし、その感動が今でも竹早で教
員を続けている一番の理由です。
皆さんは、何かと大変な年齢にあると
思いますが、竹早の仲間達を大切に健康
第一でこれからも活躍ください。

1990年3月、41期生手作りの卒業
記念パーティー、体育館の全ての窓にダ
ンボールを貼って真っ暗にしました。揺
らめく炎を手にした委員が各テーブルに
旅立ちの炎を点火。歌ありダンスありの
賑やかなパーティー、密かに用意してお
いた風船を全員が空へと放ちました。ク
スノキを越え、願いを乗せた色とりどり
の風船が空へ空へと。微かな点になった
頃、オクラホマミキサーが流れ始め、一
周するまでという執念?で手に手を取り
合って踊っていたあの光景が甦ります。
41期生全員がああ時、ああ場に確かに
いたのです。
あまりにも早くして魂へと戻ってし
まった同朋たち、空から冨健郎先生と一
緒に学び舎を見てくれていることではし
ょう。私たちが見えますか。
歳を重ねてきました。君たちは、『一

久しぶりに卒業アルバムを開いてみま
した。そこには懐かしい顔、顔がありま
した。そして、自分にもこのような時代
があったのだと、不思議な感じがしまし
た。当時私は41歳で、今の皆さんより少
し若かったのですね。その頃は自分も高
齢者になることなど、考えもしなかった
と思います。それほどに30年という年月
は長いですね。
つい最近、車の免許の更新時には、2
時間の高齢者講習なるものが必要である

この三月に平成最後の卒業生である70
期生が竹早中を巣立ち、僕はその担任の
一人として昨年四月から加わっていたの
ですが、奇しくも41期の時と同じC組で
した。思えば、あの時も途中から、そう
二年二期から担任の一角にお邪魔しま
した。当時は新卒に毛が生えたような存
在で、竹早で一年「先輩」の生徒の担任
ですから立場が無いというか、僕として
も何とも不安でした。確か十二月になっ
た頃、当時の総務委員のKW君に「やっ



「自ら求め」るということ

新海宣彦



同窓生の皆さんは、竹早中の教育目標はご存知でしょうか？一つ目の「自ら求め、考え、表現し、実践できる生徒」と言える方は極めて少ないと思います。

竹早中初めての、数年にわたる共同研



41期生のみなさんへ

山田一美

谷菜さんは、「いつでも、今が一番」が口癖でした。自己目標に向かい全力を尽くした方ゆえの言葉でしょう。私も、最後の自己目標に向かい進みたいと思います。



41期生の昭和62年4月、一年生のとき

究『学習意欲を持たせ高める』研究と全国発表（1987年）を終えて、当時の先生方の熟議を経て、その想いを集約し、現行の教育目標が確定されました。普通は、「自ら求め（探求心）、考え（判断力）、実践できる」の三語ですが、表現力を付け加えたのは、今後の国際社会での活躍に特に必要な力との想い等からでした。とりわけ「自ら求め」は、竹早中のそれ以前の目標「心身共に明るくたくましい生徒」の「たくましい」を分析し、竹中生の優れた自由研究力を一層のばし、探求心のみならず将来にわたって自己目標を形作れる力を養うことを目指すとし、諸活動に自主性を尊重していきました。

他律的課題によらず「自ら求め」ることの良さは、人生の良いとき悪いときにかかわらず、自ら決めた目標なので自分で自分に責任が持てることです。新劇人として自ら厳しく女優の道を進んだ北林

41期生の昭和62年4月、一年生のとき新海先生、林先生、塙先生と学年を組んで、私は一Bを受け持ちました。塙先生が3月に退官され、二年生の学年は、A・佐々木先生、B・私、C・林先生、D・新海先生となりました。しかし、私の都合で8月に転勤したため、岩瀬先生に後任を引き継いでいただきました。ご迷惑をおかけしたこと、そして何よりも二Bのみなさんと一緒に時を過ごし、その成長を見守れなかったことが残念です。

五年前、幸運にも大学の業務で竹中の入学式と卒業式に同席する機会がありました。『泰山木の香も高く』の歌声を聴くたびに、心が高鳴り一緒に口ずさんでしまいました。校外学習・部活・校舎屋上で遊んだこと、銀杏の木にぶつかりそうな運動会、懐かしく思い出されます。みなさんが自分の志を胸に、大きく羽ばたいてくれたと思っています。

41期生を代表して、先生がたに

高垣絵里

今回、寄稿の機会をいただき、中学時代の思い出を振り返ると、ある光景が鮮明に蘇ってきました。それは、新海先生が黒板に勢いよく「目」の絵と「真実の目」という言葉を書き、チョークの粉が宙を舞っている光景です。人生の岐路に立った時、この「目」が「人生の道標」になるとは思いもせず、当時の私は、授業中に「目」が登場する度に、「アー、また！」とクスクス笑っていました。そんな私も竹早を卒業して早30年。45歳を目前にし、改めて、竹早での日々が私に与えた影響の大きさを実感します。

えないパキスタンでの会社設立— こうした無謀とも言える挑戦に積極的に取り組む自信や勇氣は、「個人の尊厳を重んじる竹早」で育まれた自己肯定感が基盤にあります。それが今、私が自分の「目」を信じる力、困難に立ち向かう意欲の原動力になっています。

私は大学を卒業後、アメリカに渡り、米国の大手通信機器会社に就職。そこで発展途上国のIT教育を支援する仕事に携わりました。その後、バン格拉デシム、次いでパキスタンで開発援助関係のコンサルティング会社を創業。2012年にはパキスタン大地震で障害を負った女性らの自立支援のため、不要紙を再利用してアクセサリーなどを作る「ペーパーミラクルズ」を立ち上げました。

仕事等で世界約90カ国を巡り、色々な方々と出会う機会に恵まれ、大人になった今だからはつきり言えること。それは、「竹早の先生がたはかなり『個性的』だった」ということです。「変わり者の代表格」の新海先生や「竹中の金八先生」の林先生を思い出し、深く頷いているみんなも多いのではないのでしょうか。「変わり者」が教鞭を執り、異なる価値観が共存する「竹早独特の世界観」。この環境で学んだことにより、多様性を尊重できる人間へと成長しました。複眼的な視点から広がる世界の魅力と奥深さを知りました。今でも消えない、「見てみたい」、「学びたい」という私の好奇心や向上心の源流です。固定観念に固執しない生き方、自由な発想の大切さを教えて下さった先生がたとの出会いがあれば、今の私はなかったと思います。



— 最貧途上国のバングラデシユや治安悪化の懸念が絶えな

平成30年同窓会総会報告

40期 幹事一同

平成三十年七月七日（土）竹早小学校ランチルームにて竹早中学校同窓会総会および懇親会が開催されました。

出席者は2期から69期まで82名と大変盛況で、幹事学年卒業時担任の池田正雄先生、川崎正夫先生、鈴木忠明先生をはじめ、恩師の方々、現役の先生方と多数のご出席をいただきました。丹校長先生には開会のご挨拶を、川崎先生に乾杯の御発声を、会の途中には鈴木先生・池田先生からお言葉を頂戴しました。

イベントの一つめは同期による講演として、元国境なき医師団・現ベアフットドクターズ顧問である、林健太郎さんに登壇いただきました。戦争地域における医療活動を通して得られた思いから、八角平和計画の立ち上げを行うまでに至る貴重な経験に基づく内容でした。諸先輩方も大変興味深く聴き入ってくださっていた様子であり、我が同期を誇らしく感じました。

続いてのイベントは豪華商品があたるジャンケン大会です。ママの同窓会に付き合ってくれていたちびっ子たち2組が、見事にディズニールゾートベアチケットを勝ち取り大喜びする姿が微笑ましく、会場体となり盛り上がる事ができました。そして残念ながら負けてしまったちびっ子に、優しい大先輩から先に当たっていたシルバーのペンダントを譲っていただく場面も！竹中の世代を超えたあたたかい繋がりを感ずることができました。

懇親会の最後は、同窓生でもある森副校長先生にお言葉を頂戴しました。当日のケータリングは3期下の同窓生にお

願いました。（美味しかった！）段取りもわからず右往左往している我々40期を準備段階から温かくサポートしてくださった38期の先輩。そして何より当日参加くださった先輩方・後輩のみなさんのお陰様をもちまして、無事に総会・懇親会を開催できたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

今後とも竹早中学校および竹早中学校同窓会のさらなる発展を祈念しております。



平成30年度同窓会活動報告

・入学式出席 4月10日（会長・副会長出席お祝い1万円）

・第1回常務理事会 7月14日（土）

① 東京学芸大学創立75周年にむけて↓
会長

75周年事業の方向性

寄付金をいつから募集できるのか。

② 31年度同窓会総会担当当年次への説明と確認

③ 名簿部データ情報

④ フレッシュアップについて

⑤ 31年度事業予定表決定

⑥ 31年度理事の承認

⑦ 先生方との懇親会について

⑧ 卒業記念品贈呈、卒業式報告

⑨ 入学式報告

・第2回常務理事会 6月2（土）14時〜16時

① フレッシュアップ発行について

② 75周年事業の方向性↓継続案件

70周年記念誌の有効的な活用

（800部）

③ 30年度総会の準備状況について

④ 名簿部データ情報

⑤ その他

・同窓会総会…ランチルーム 7月7日（土）

・第3回常務理事会 9月8日（土）14時〜16時

① 平成28年度同窓会総会についての報告

② フレッシュアップの発行・発送結果

③ 名簿部から。70周年記念名簿の進捗状況等

④ その他（報告事項など）

・運動会出席 9月23日（会長・副会長出席お祝い1万円）

・3年保護者説明会 11月16日 副会長出席

・第4回常務理事会 12月1日（土）14時〜16時

① 75周年記念事業について

② 学校との話し合い、記念誌等の報告

③ 保護者説明会について

④ 卒業記念品贈呈について

⑤ 新年会について

⑥ その他

・新年会 1月26日 後楽園飯店

・卒業記念品贈呈式 3月14日（村上副会長・白江出席）

・卒業式 3月15日（会長・副会長出席お祝い1万円）

常務理事 選出のお願い

同窓会理事会は、常務理事の募集をしております。理事会名簿でもご覧頂ける様に、様々な年代の方々が、色々な部会で、活躍しております。

同窓生の一番の宝は、「共に学んだ友」と「帰って来られる母校」の二つです。同窓による一種の共通の価値観を持っていると思われる様々な年代、キャリアの方々の語らひは、刺激的で且つ興味深く、是非同窓会の活動にご参加下さい。

新しい事に一歩踏み込まれてはいいかがですか？ご参加を、いつでもお待ちしております。

同窓会部活動援助金について

同窓会部活動援助金につきましては、今年度は次のような備品に使わせていただきました。

○フットサルゴール・ゴールネット（サッカー部）

○ネット・アンテナ（バレーボール部）

○バストロンボン（吹奏楽部）

今年度、運動部は各大会で活躍し、都大会に出場する部もありました。文化部につきましても、個性豊かな活動が先生方によって支えられています。例年、御支援を賜り、感謝申し上げます。

今後とも引き続き、部活動に対する応援、ご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

創立70周年記念誌の販売

懐かしい母校の活動や同窓生の座談会を記載した、創立70周年記念誌を販売中です。振込用紙からお申し込み下さい。

記念誌販売価格 4,000円

(令和元年度維持会費+送料+記念誌代)

名簿部より

同窓会名簿販売について

同窓生の交流を応援するツールとして、「2017年版同窓会名簿」を発行しています。振込用紙よりお申込み下さい。なお、名簿にはナンバリングが施され、同窓会でも管理していますので、廃棄など十分ご注意ください。

同窓会名簿販売価格 5,000円

(令和元年度維持会費+送料+名簿代)

名簿デジタルデータ更新について

①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。

②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会総会返信葉書にて、毎年調査を行い、変更事項について更新致します。

③随時、郵送又はメールにてデータ提供をいただいた場合、更新致します。

・自分の住所等の変更があった時

・2017年版名簿に記載誤りがある時

・2017年版名簿に友人の空欄(消息不明)をお知らせいただける時

※なお、ご本人が公表拒否を希望されている情報は、同窓会のみ管理となります。

連絡先・・・〒112-0002

東京都小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校

同窓会名簿部 白石 英行 宛

E-MAIL bunkyo@mail.ne.jp

④デジタルデータ更新は年2回(3月・9月)行います。

⑤同期会開催の場合、各年次委員に限定しデータ提供を行います。

令和元年度 同窓会常務理事

会長	古谷 顕史郎	13
副会長	松岡 隆司	14
顧問	村上 一路	13
	二瓶 好正	7
	田中 元次	2
	三嶋 明	13
監事	高柳 良夫	3
総務部	高島 正子	7
	白江 千治	26
	神沼 厚史	40
事業部	高柳 良夫	前掲
	三嶋 明	前掲
	田中 充	29
	野島 雅	41
広報部	小菅 昭彦	27
	田上 睦美	33
	関根 青磁	38
名簿部	安井 肇	19
	白石 英行	31
	関根あすか	36
	正野 敬子	19
会計部	永井真知子	19
	石黒由香里	26

2019年度 予算案

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	8,836,579	Ⅲ 本年度支出	3,800,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,500,000
普通預金	1,969,639	総会・懇親会開催費	650,000
郵便貯金	3,752,138	常務理事会費	50,000
小口現金	114,802	総務費	120,000
		文書事務費	70,000
		郵便連絡費	190,000
		慶弔費	90,000
II 本年度収入	2,950,200	卒業記念品代	140,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,500,000	技能強化支援金	100,000
同窓会活動支援寄付金	500,000	名簿入力・追録費	170,000
		ホームページ作成・維持費	
維持会費	800,000		120,000
総会・懇親会会費	100,000	差引残高	7,986,779
預金利息	200	IV 次年度繰越	7,986,779
名簿売上	50,000	【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	1,000,000
		郵便貯金	3,000,000
		小口現金	986,779
合計	11,786,779	合計	11,786,779

注:(1)送料を含む

2018年度 会計報告

(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	13,125,810	Ⅲ 本年度支出	8,055,497
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,371,270
普通預金	2,438,790	総会・懇親会開催費	372,017
郵便貯金	7,439,303	常務理事会費	14,554
小口現金	247,717	総務費	110,020
		文書事務費	1,062
		郵便連絡費	169,313
		慶弔費	40,000
II 本年度収入	3,766,266	卒業記念品代	112,837
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,590,000	名簿入力・追録費	156,988
同窓会活動支援寄付金	614,986	ホームページ作成・維持費	107,436
			120,000
維持会費	961,000	75周年記念事業準備費寄付	5,000,000
総会・懇親会会費	146,000	差引残高	8,836,579
預金利息	280	IV 次年度繰越	8,836,579
名簿売上	234,000	【内 訳】	
70周年記念誌売上	186,000	定期預金	3,000,000
マグカップ・ファイル売上	34,000	普通預金	1,969,639
		郵便貯金	3,752,138
		小口現金	114,802
合計	16,892,076	合計	16,892,076

注:(1)送料を含む

教育後援会

「創竹会」からのお願い



創竹会副会長
村上 一路

同窓会会員の皆様には平素より竹早中学校教育後援会「創竹会」の活動にご協力を賜り、篤く御礼申し上げます。

本誌初頁の古谷同窓会会長のご挨拶にもございますように、竹早中学校の創立75周年記念事業である「体育館の改修（音響改善と床の張替）」並びに記念式の遂行に、今後4年間に総額予算で約2900万円が必要と試算しております。この原資を同窓会・PTA・創竹会が連携し2022年度まで4年間に亘り毎年募り、奨学寄付金として大学へ寄付し、附属学校教育研究費として竹早中学へ還元して頂く計画です。

国立大学法人への寄付は所得税法上の所得控除（寄付金控除）の対象となりますが、寄付控除を得るには「一年を通し、対象者を広くした寄付」を満たすことが条件となります。そのため「創竹会」では本年度より、東京学芸大学からの「寄付金領収書」を発行できる制度（「特別寄付」制度と称す）を立ち上げることとしました。同窓会やPTAの皆様からの寄付金払込みも、大学への寄付控除手続き一本化の為、「創竹会」を窓口として

取り扱わせて頂きますので、ご承知おき下さい。

左記をご参照頂き、「特別寄付」への協力宜しくお願い申し上げます。

本年度開始の「特別寄付」制度概要

- 1 目的 東京学芸大学附属竹早中学校の教育振興・充実等のため
- 2 募集対象 全校生徒保護者、同窓生、賛助会員、一般人・法人
- 3 受付期間 通年の募集

*大学からの「寄付領収書」発行手続きに時間を要するため、2019年（1月～12月）確定申告に必要な「寄付領収書」の発行を希望される場合は、8月31日までに振込をお願いします。

- 4 受付金額 1口10,000円

（一口以上、何口でも結構です）

- 5 支払方法 ゆうちよ銀行振込

*同封のゆうちょ振込取扱票（通信欄に「竹早中学校教育後援会（特別寄付用）」と表記）をご使用下さい。振込手数料は誠に勝手ながら各自ご負担下さい。

*大学からの領収書が届くまで、振込受領書を大切に保管下さい。

さてこの機会に、教育後援会・「創竹会」の役割について説明させて頂きます。教育後援会は平成12年に当時の文部省からの要請を受け、教育活動に必要な資金を任意の拠出金にて賄うために、多くの国立大学附属学校園で設立されました。

平成16年に国立大学が独立法人化されて以降、国からの「運営交付金」は年々減額され、大学から附属学校へ給付される予算「附属学校教育研究費」も減少の一途をたどっております。具体額で申し上げますと、竹早中学への「附属学校教育費」は、平成15年度に約930万円の給付額が、平成30年度は340万円と当初から6割の減となりました。つまり生徒一人当たりになりますと、1万円にも満たないのが現状です。

このような現状を踏まえ、教育後援会では皆様からの寄付金を大学および竹早中学校に支出することにより、就学環境の維持改善を行っております。この創竹会からの寄附金支出によつて空調設備の更新・保守、教室校舎の修繕、教科の備品・消耗品、図書の購入など様々な施策の支援を実施して参りました。公立中学校では税金で賄われているものが、東京学芸大学の附属学校では支給されないというのが現状です。加えて一昨年実施した校内LAN更新整備や、現在進行中のこの体育館の改修を中心とした運動環境の整備など、より優れた就学環境を実現すべく様々な施策も企画・実施しております。これには年間で3000万から4000万円の運営資金が必要となります。

同窓会の皆様には以上の様な実情をご理解いただくと共に、創立75周年記念事業に向けた「特別寄付」へのご高配を賜り、更なるご支援をお願い申し上げます。

維持会費同窓会支援寄付金 ご協力をお願いします

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもつてこれにあてる（同窓会会則22条）。2018年度の収入は約377万円、支出は約806万円でした（2018年度会計報告参照）。収入内訳は、入会金159万円、維持会費約96万円、同窓会活動支援寄付金約61万円、その他約61万円でした。

維持会費は、毎年2000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。なお、払込入住所氏名欄の住所氏名卒業年次の記入をお忘れなく（毎年払い込みください）。

編集後記

同窓会グッズがひそかなブームになっています。（と勝手に思っています）某高校では、制服の形のキーホルダーや、マグネットが販売されていました。なかなか可愛い感じでした。竹早中学校も負けていません。マグカップやクリアファイルがあるのです。
<http://www.takahaya-jhs-dousoukai.net/kinenhin/index.html>
ネットでは買えないので、ぜひ総会などのイベントに参加して購入してください。きっと将来は価値が倍増するかもしれません。どんとん学校を応援しましょう。（文責 田上睦深）

同窓会ホームページをご利用ください。
<http://www.takahaya-jhs-dousoukai.net/>